



2004年11月21日(日)「関東シルクロード」を行いました。今回のコースは、江ノ島をスタートして海岸線を走り、葉山で三浦半島の内側に入り、衣笠、北久里浜を通り、馬頭海岸へ抜け、観音崎がゴールとなる約30キロです。

参加者は、海宝さんを含めて15名。初めての方が4名でした。

この「関東シルクロード」は、海宝さんを中心におしゃべりしながら楽しく走ろうという主旨で始まり、今回で16回目。競走でも練習会でもありません。出発地と目的地を点と線でつないでいく、旅かもしれません。予定していたルートと違う場所を走ることもあれば、途中でワープ(電車・バス・タクシーなど利用)もありです。過去には、コースの途中から参加した方、途中で帰られた方、電車で先回りした方、遅れを取り戻すためにタクシーに乗った方、リタイアして伴奏者に乗った方など様々。

みんなで「関東シルクロード」の時間と空間を共有して、ゴールして“乾杯”して、走る旅の思い出を創るのです。今回は(も?)海宝さんが行方不明になりました。



横浜をゴールに・・・

今年3月28日(日)「関東シルクロード 飯能から秩父へ」が無事終了して、帰る車の中で、秋の「関東シルクロード」のコースの話題になりました。海宝さんは「原点に戻って、横浜をゴールにするコース設定にしてはどうですか?」「わかりました。検討してみます」

8月に入り、“今月中には下見をしなくては”という時期がやってきました。「関東シルクロード」を始めた頃は、自分も一緒に走っていたのですが、やがて、マウンテンバイクでの伴走になり、最近は“車の伴走はありません”とご案内しているものの、車で伴走するようになっていきます。海宝さんの横浜とは、“山下公園”を指していることは“間違いない”のです。日曜日の夕方の山下公園周辺を車でサポートするのは、ちょっとむずかしそうです。“港のヨーコ横浜横須賀”と横須賀ゴールでごまかそうとコースを考えてみました。

下見でコース決定！?

スタートは集まりやすそうな“片瀬江ノ島”か“逗子”。秋の三浦半島の海岸をなめて、“三笠公園”でどうかな? 8月30日(月) 海宝さんと江ノ島から下見の車を走らせました。江ノ島を出発して国道134号線で三浦半島1周を試みます。ところが、思いの外走行距離が伸びてしまうことが判明、コースの見直しを行いました。そこで、観音崎から北久里浜、衣笠を経て葉山に出て、江ノ島まで戻ってみると、約30キロ。コースは、こうして決まっていたのですが...

不安が・・・

そして、11月になり、「関東シルクロード」の日が近づいてくると、少々不安が頭を持ち上げて来ました。“下見は逆ルートで行っている”“車で伴走するとなると休憩ポイントに停車できるか”“観音崎でゴールしたあとは...”

11月19日(金) 町田は、改めて下見に出かけました。駐車可能なコンビニなどの確認、右折・左折する交差点のチェックを行いながら観音崎に近づきます。“京急観音崎ホテル”で日帰り入浴ができないか交渉したのですが、大浴場がないので無理ということ。そこで紹介されたのが“観音崎健康ランドセンター”でした。場所は、ゴール地点の観音崎公園入口から数百メートル。古い施設の割に料金が高いのですが、食堂や広間もありました。問題は入浴料。フロントのおばさんに事情を話して、1750円を1550円で了解してもらいました。



片瀬江ノ島駅前

忘れました 自己紹介

11月21日(日)9時、小田急線片瀬江ノ島駅に次々と参加者が集まります。土屋晋さん(初参加)、黒沢佳文さん、安倍正史さん(初参加)、西永宣昭さん、高瀬章さん、八木芳子さん(初参加)、沢田初美さん、高城満さん、高城恭子さん、金子さとしさん(初参加)、篠塚三樹雄さん、河内洋子さん、津村美穂子さん、石井純子さんの14名です。津村さんのご主人は、自身も走りたいところなのですが、体調が本調子ではないので、車で奥様の送り迎えで顔を出しました。埼玉県の“新しき村”から参加の河内さんは、そこで採れた柚子とゆで卵をこの日のために差し入れて(町田宅に届けてくれ、町田が車で持参)くれました。そして、辻堂に住む息子のお嫁さんへのお土産をここで渡すことになっているのですが、“嫁”がなかなか現れません。そんな中、町田と海宝さんが「関東シルクロード」の主旨と注意事項を話したのですが、すっかり忘れたのが、参加者の自己紹介。そして、ず～っと忘れっぱなしでした。すみません! 車に預けて差し支えない荷物を積み込んでいるところへ河内さんの“嫁”が到着。これで、安心してスタートです。



(左から) 高城恭子さん、高城満さん、土屋晋さん

恐いトンネルの中

海宝さん先頭に走り出すのを見送って町田も車で出発します。アツと言う間に追い越し、江ノ電“鎌倉高校前”の停車スペースに車を止めて、みんなの通過を待ちます。そして、スタートから約3キロ地点の“セブンイレブン”の駐車場に車を入れ、



みんなを誘導します。ここまでがウォーミングアップ。ウインドブレーカーなどを脱いで体温調節します。脱いだ上着などは車の中へ。この時、高城満さんが持参した地図を見ながら、「このトンネルは歩道が無くて、恐い経験をしたことがあります…」海宝さんにこのことを告げ、「トンネルを迂回する道を探して走って下さい」歩道がないのなら必ず人が歩く迂回路があるはずです。



(左から) 津村美穂子さん、西永宣昭さん、石井純子さん



(右から) 篠塚三樹雄さん、金子さとえさん、
八木芳子さん、高瀬章さん



(手前左から) 津村美穂子さん、土屋晋さん、
高城満さん、金子さとえさん、高城恭子さん、
西永宣昭さん

眼に焼き付いた渚橋からの展望

5キロ地点の“am-pm”に車を止め、みんなの通過を確認して、先回りするのですが、ここから例のトンネル(伊勢山トンネル)を越えて、渚橋の先の“am-pm”まで車を停車出来るような場所がないのです。仕方なく、10.6キロ地点の“am-pm”に駐車して、渚橋の上で待つことにしました。5キロ離れたわけですから、10時30分頃にはみんなが来るはずなのに、なかなか来ないのです。遠くに見えるトンネル付近にランナー達は確認できません。しばらくして、携帯電話が鳴り、海宝さんが「今、トンネルの真上あたりにいます。町田さんはどこにいますか?」「渚橋にいます」30分待つのも長く感じるのですが、さらに30分、11時過ぎ、ランナーを確認できました。「そのエーエム・ピーエムに入ってください!」話を聞いてみると、トンネルを避けて迂回した道が迷路で、かつてこの付近に住んでいた津村さんが、記憶をたどってくれたのですが、昔と現在は違っていたようで、いろいろあって、なんとか国道に戻ることができたということ。走行距離をかせいだようです。



(右から) 高瀬章さん、八木芳子さん、土屋晋さん

“am-pm”の駐車場で休憩。給水とトイレ、そして、河内さんの差し入れのゆで卵、海宝さんの持ってきたウルトラマラソン用(?)のお菓子などをいただきます。



和菓子屋で消えた海宝さん

「ここから、3キロほど先に“文教堂”という本屋が左にあって、そのすぐ先の信号を左折して下さい」と出発してすぐにコースミス！目の前にあった“長柄トンネル”を越えて右折するところをトンネル手前で右に入ったのです。



渚橋付近のコンビニで休憩

間違えに気付いた町田は、“ローソン”手前で左折して修正を試みましたが、ランナーは直進して行ってしまいました。Uターンして再びランナーを追い越し、大胆にも(ドキドキしながら)葉山御用邸”手前の警察署の駐車場に車を止めます。先頭を走ってきた高城満さんと呼び止め、コースを間違えたことと現在地を教え、「目の前の信号を左折して“葉山大道”という交差点で待っていて下さい」と告げます。「海宝さんは」「和菓子屋さんに入ったよ」「道、わかっているのかな?」「全然覚えていないって」

自力でワープ

海宝さんの携帯電話にかけましたが出ません。行方不明になった海宝さんを捜して、車を走らせます。8月の下見の時は御用邸を越えて直進したから、もしかしたら...と探しましたが、見つかりません。みんなを待たせた交差点に戻るとみんなの姿はなく、高城さんが「海宝さんから電話です」と高城さんの携帯電話をわたされます。「今どこにいるのですか?」「湘南国際村の入口あたり」「わかりました」海宝さんは、コース上の3キロほど先にいたのです。みんなで海宝さんを追いかけます。湘南国際村へ向かう道に入るとすぐのバス停にみんなを誘導して、休憩。海宝さんの買ってきた和菓子をいただきます。海宝さんは、和菓子を買って、町田が修正を試みた“ローソン”の角を左折して国道に戻り、“文教堂”の先の交差点を左折し、みんなを追いかけいていたのです。ところが、みんなは、コースを間違えて遠回りしたため海宝さんの後ろにいて、海宝さんの



(手前から)河内洋子さん、黒沢佳文さん

到着を待っていたのです。時刻は、12時30分「この先の“ファミリーマート”か“ローソン”で昼食にします」脇道から国道に戻り出発します。

昼食はコンビニが一番!?

“ファミリーマート”までは1キロ足らずでしたので、ちょっと引っぱってさらに2キロ先の“ローソン”で昼食としました。それぞれ好きなものを買って食べてもらいます。昼食時間は、約30分でした。過去には、食堂に入って食べたこともあるのですが、注文が決まるまで、そして、出てくるまで、さらに、食後にのんびりと、1時間半くらいかかってしまい、なんだか走る気力が失せてしまった(もちろんやめたりしませんが)こともあるのです。



コンビニで昼食

「次の注意するポイントは“池上十字路”という交差点です。そこを右折して下さい」

宿場町(?)“衣笠”

池上十字路を右折して車を走らせます。寂れた(?)商店街が始まり、それは、衣笠駅が近づくにつれ少しずつ賑やかになり、再び寂れて行きます。約4キロ続くこの商店街は、どうや



ら古くからあるようで、駐車場のあるコンビニが存在しません。商店街が終わったところにある“ブック・オフ”の駐車場で待つことにします。昼食を取ったコンビニから約5キロです。13時50分、集団が走って来ました。“ブック・オフ”の駐車場に誘導して、給水休憩。



(右から) 安倍正史さん、津村美穂子さん、

「800メートル先のT字路を左折して、しばらく行くと“観音崎”直進の道路標識が現れます。さらにまっすぐ行ってT字路を右折すると海岸に出ます」

最初のT字路は“湘南橋”という交差点で、ここで再び国道134号線に入ります。次のT字路で国道16号線に乗り換えると終点を目指す“観音崎”なのです。国道16号線に入ってすぐ、釣り人用(?)の駐車スペースに車を止めて、ランナーを待ちます。



(右から) 海宝道義さん、石井純子さん



(手前右から) 高城満さん、
高城恭子さん、金子ささえさん、
黒沢佳文さん

旅の終わりは昔風がいいかもネ

14時30分、集団がやってきました。“ブック・オフ”から3.6キロ、ここからゴールまでは、4.5キロです。ここで最後の給水・給食休憩。左手に“猿島”が、右手に“観音崎の灯台”が確認できます。

「この道をひたすらまっすぐ行けばゴールです」

集団が出発してから、“観音崎健康ラドンセンター”に電話を入れます。9時スタートで距離が約30キロですから、13時30分から14時に到着する予定でしたが、15時30分くらいになりそうです。“今、観音崎まで5キロくらいの場所です。必ず行きますからよろしくお願いします”

平らな海岸通りは、岬が近づくとアップダウンを繰り返し、最後に下りきったところが“観音崎公園入口”でゴールです。ゴール手前の展望スペースで記念撮影をして、“観音崎健康ラドンセンター”へ向かいました。津村さんのご主人も無事合流して、ラドンセンターで汗を流し、食堂で乾杯！

お土産は、海宝さんからの絹のスカーフと河内さんからの柚子でした。

海宝さんと帰りの車の中で、来年春のコースについて話します。今度は、海宝さんの自宅付近で桜を見ながら走るコースになりそうです。



(右から) 高城恭子さん、沢田初美さん、黒沢佳文さん



海宝 道義	194-0202	東京都町田市下小山田町 2731-4 042-797-5383
町田 行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12-201 042-773-7415
土屋 晋	196-0025	東京都昭島市朝日町 3-3-7 042-545-5580
黒沢 佳文	338-0001	埼玉県さいたま市中央区上落合 3-3-2 東風寮 048-859-3341
安倍 正史	142-0063	東京都品川区荏原 6-7-20 エール小山 302 03-5750-4583
西永 宣昭	207-0032	東京都東大和市蔵敷 2-597-14 042-563-1700
高瀬 章	241-0001	神奈川県横浜市旭区上白根町 956-3 045-953-8343
八木 芳子	241-0022	神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰本町 1064-45 045-951-4330
沢田 初美	240-0006	神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川 3-2-7-501 045-332-1303
高城 満	152-0021	東京都目黒区東が丘 2-9-18 03-3422-4097
高城 恭子	152-0021	東京都目黒区東が丘 2-9-18 03-3422-4097
金子 さとえ	152-0031	東京都目黒区中根 2-14-21 パークハイツ都立大 302 03-3725-3462
篠塚 三樹雄	185-0012	東京都国分寺市本町 2-20-3-301 042-326-9077
河内 洋子	350-0445	埼玉県入間郡毛呂山町新しき村 049-295-0991
津村 美穂子	243-0401	神奈川県海老名市東柏ヶ谷 5-10-32-301 046-236-0253
石井 純子	206-0823	東京都稲城市平尾 1-52-22 042-331-5570